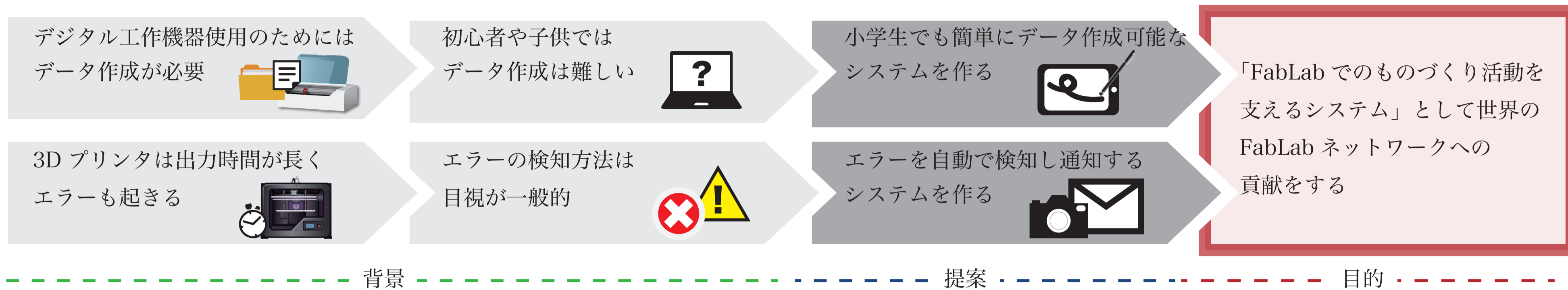
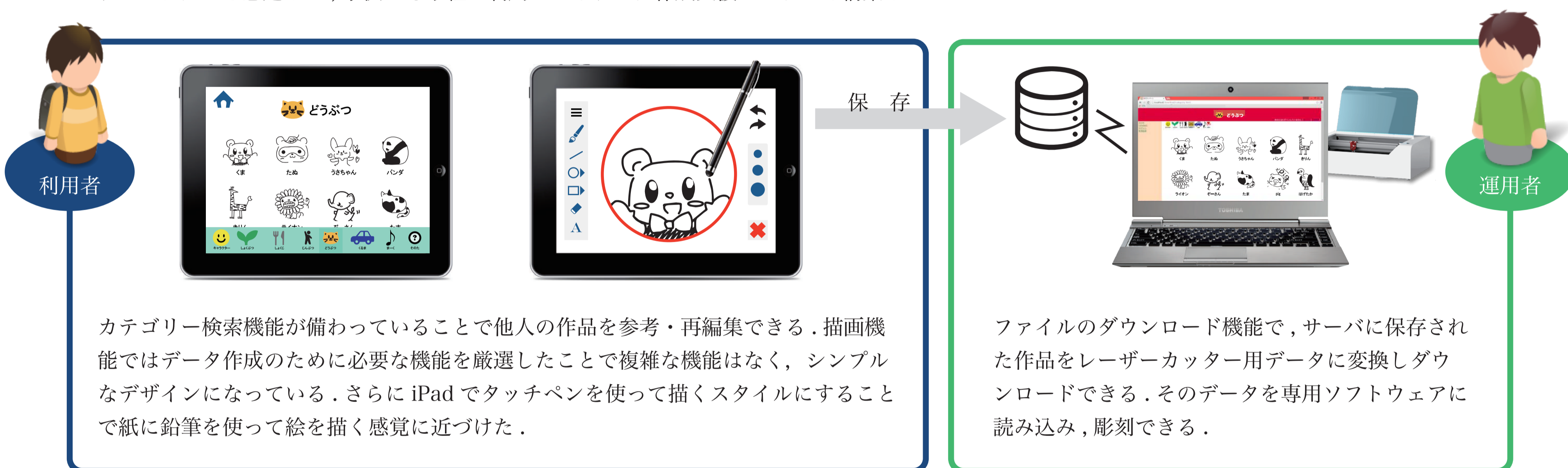


背景と目的



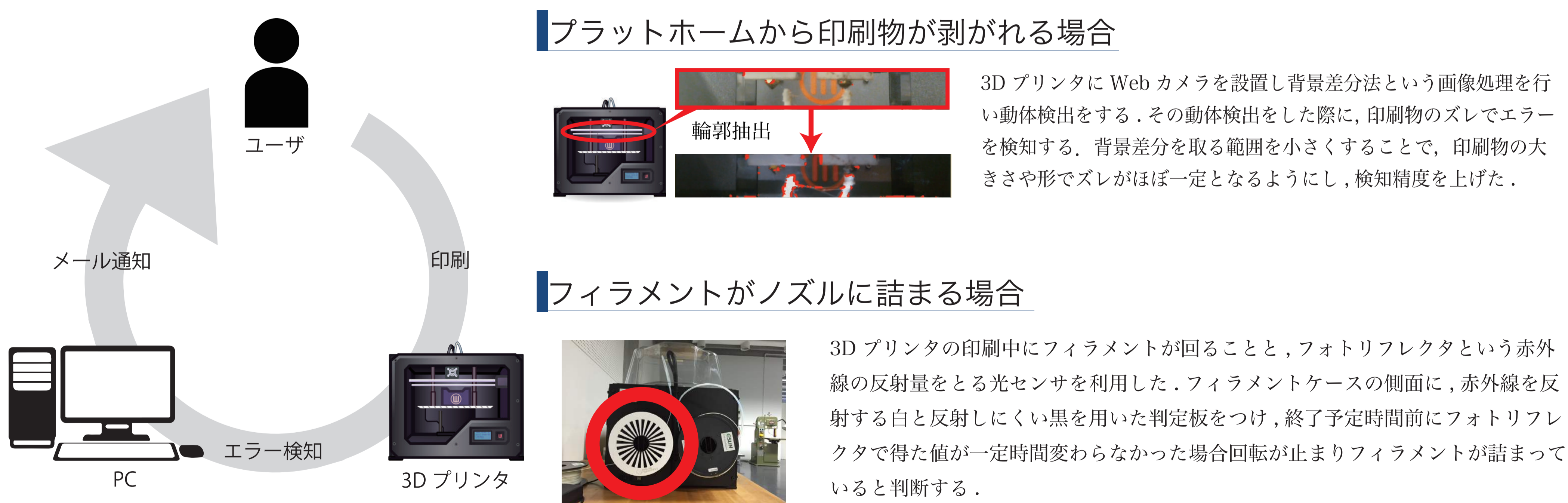
データ作成支援システム

子供向けワークショップを行った際に発生した「子供がパソコンソフトでデータを作るのは困難」という問題に着目した。そこでワークショップで使用した小型レーザーカッターを想定して、子供でも手軽に利用できるデータ作成支援システムを構築した。



3D プリンタのエラー通知システム

今回検知題材として使用している 3D プリンタ Maker Bot Replicator 2X では、1 年の活動の中で、3D プリンタのプラットフォームから印刷物が剥がれてしまう場合と、印刷中にフィラメントがノズルに詰まってしまう場合の 2 つのエラーに遭遇した。そのためこれら 2 つのエラーが検知された際に、利用者へ通知するシステムを構築した。



今後の展望

データ作成支援システム

- ・2016 年 1 月にあるワークショップで実際に運用し、レビューを元にシステム改善（アンケートを実施予定）
- ・他の Fab 機材のデータ作成ツールの開発

3D プリンタのエラー通知システム

- ・実際に工房に本システムを取り入れ、問題提起をし改善をする。
- ・フィラメントケースの型を限定せず、円盤の汎用性を高める。
- ・システムのテストをするため、印刷が失敗する状況の収集。